

# サポート通信

特別支援教育センター校からの情報発信・ネットワーク

平成30年6月25日 発行

広島市立広島特別支援学校

No. 19



## サポートセンターを御利用ください

広島市立広島特別支援学校校長 中尾 秀行

サポート通信を御覧いただいております皆様、こんにちは！！

サポートセンターは、平成24年度に開設しました。本校が中区大手町から南区出島に移転・開校した年です。平成19年4月学校教育法の一部を改正する法律が施行され、「特殊教育」から「特別支援教育」に法律上定められました。同時に、特別支援学校は、地域の特別支援教育のセンター的機能を発揮することが位置付けられたのです。画期的なことでしたが、特別支援学校が果たすべき大きな役割として当たり前のことだとも言えます。

本校は、サポートセンターを設置するまでセンター的機能を発揮すべく努力しておりましたが、相談機能においては体制が整っていませんでした。平成24年度4月、分掌部としてセンター的機能を推進する「地域支援部」を立ち上げ、教育相談を行う教育相談主任を置き体制を整えスタートを切りました。移転・開校する校舎に、日本の特別支援学校における最大規模の相談機能を有する約500㎡の相談エリアを設置することができました。それが、「サポートセンター」です。

サポートセンターでは、教育相談機能と研修機能を備えています。設置7年目を迎え、多くの子どもたちや保護者の皆様、教職員の皆様に御利用いただいています。来校相談について平成29年度の利用件数は、延べ729件となっています。小学校が584件、中学校が141件、高等学校が4件となっています。学級種別で見ますと、通常の学級が665件、自閉症・情緒障害特別支援学級が64件となっています。支援方法については、御来校していただく面談によるものが多くを占めていますが、連携のため在学期に訪問させていただく場合もあります。相談内容を障害種別で見ますと、自閉症スペクトラム、続いて学習障害、注意欠陥多動性障害と続いています。また、巡回相談については延べ21件行いました。

増加する相談ニーズに対応するため、本年度から、教育相談主任を1名増員しました。

困った子はいない。困っているのです。子どもも保護者も。適切な指導と必要な支援を子どもたちや保護者は求めています。今後とも、本校のサポートセンターを御利用いただけるように支援内容の充実を更に図っていきたいと思います。



# ■ サポートセンターについて

本校サポートセンターでは、広島市立の幼稚園、小・中学校、高等学校に在籍している幼児児童生徒と保護者、教職員を対象に、以下のような支援を提供させていただきます。

## ◆ 保護者・本人への支援（来校相談）

子どもの特性や学び方の特徴を把握・整理し、保護者や本人に、具体的な支援や学習方法についてアドバイスします。担任の先生方とも連携を図ります。



## ◆ 学校への支援（巡回相談）

特別な教育的ニーズのある子どもたちの特性の理解、支援の在り方等について、情報提供します。実際に授業場面を参観し、子どもの特性に応じた対応や教材等を御紹介しています。

## ◆ 教育相談会・研修会の開催

夏季休業中に、相談会や研修会を開催します。下記および右ページに紹介しています。

## サポートセンターへのお電話とアクセス

今年度サポートセンターで相談に当たる職員は、北村知恵子、川添奈々恵、永井康子の3名です。

先生方との連携を大切にしながら相談を進めていきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。

広島特別支援学校サポートセンター直通 TEL 256-2310

学校代表 TEL 250-7101

電話がつながりにくい状態が続いており、御迷惑をお掛けしています。サポートセンターにつながらないときは、学校代表の方にお電話いただき、伝言をしておいていただきますようお願いいたします。

## 夏の研修会～御案内

サポートセンターでは、年に一度、市内の先生方を対象に研修会を行っています。今年度は、「WISC-IV知能検査」についての研修を計画しております。皆様の御参加をお待ちしております。

対象：広島市立の小・中学校の特別支援学級担任、通級指導教室担当者

講師：教育相談主任・地域支援部員

会場：広島市立広島特別支援学校サポートセンター

講座名：WISC-IV知能検査の理解

日程：8月7日(火)「検査内容を知ろう」

8月8日(水)「プロフィールを理解し支援につなげよう」

※ 両日とも14:30～16:30



二日間で1つの講座とするため両日参加可能な方が対象となります。講座は、会場の関係で先着20名までの参加とさせていただきます。

研修会の案内と申込書を各学校に送付しています。詳細につきましては、そちらを御覧ください。

## ■ 夏休みを利用して相談してみませんか？

本校地域支援部主催の夏季休業中の教育相談会について、御案内いたします。

教育相談会とは、本校教員が相談支援者となり、市内幼稚園、小学校、中学校、高等学校の幼児児童生徒の指導や支援、実態理解やアセスメントなどについて、相談支援を行うものです。下記のように計画しております。詳細については、各校に案内を配付しておりますので、そちらを御覧ください。

御不明な点がございましたら、本校地域支援部（担当：中学部 石竹・小学部 石川 TEL 250-7101）までお気軽にお問い合わせください。

<教育相談会期間> 前期：8月2日(木)～9日(木)（※ ただし3日、6日は除く）

後期：8月17日(金)～23日(木)

※ 具体的な相談会の日程・時間帯の決定は、申込書をもとに7月下旬までに決定し、FAXにてお知らせいたします。

<申込方法> 案内に添付されている様式8『教育相談会申込書』を郵送または学校間メール便で送ってください。

<申込締切> 平成30年7月13日(金) 必着

<参加者の方の声>

様々な場合の実践的な方法を  
聴くことができ、やってみよう  
と思いました。



個々のケースに対して、具体的  
な手立てを示していただいたので  
イメージしやすかったです。

## ■ おすすめアプリ

作業などの時間の見通し、切り替え場面など、さまざまな場面でタイマーを使うことがあるのではないのでしょうか。今回は、タイマーのアプリを2個紹介します。



### ★ TIME TIMER

- ・“時間”を量として目で見て確認できる。
- ・静かに視覚的に確認できる。
- ・時計とセットで使うと時間の感覚がつかみやすい。



### ★ こえタイマー

- ・声でカウントダウン。
- ・ずっと見ていなくても声でお知らせしてくれる。
- ・カウントトアップも可能。



他にもいろいろなタイマーがあると思います。子どもの実態や用途に合わせて使いやすいものを選ぶとよいですね。大人が子どもを管理するためではなく、「後5分ある！」と見通しがもちやすくなったり、「忘れないようセットしておこう」と自分で時間の管理ができるようにしたりするなど、子ども自身が便利さを感じ活用したくなるような使い方をしたいものです。

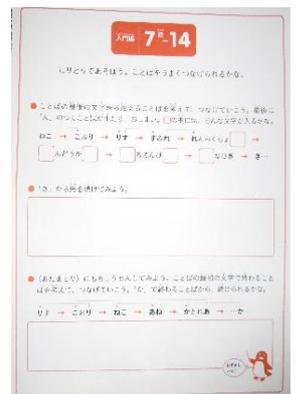
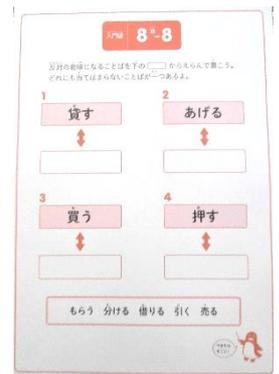
## ■ 使える言葉を増やすために…



『本物の国語力をつけることばパズル』  
 小学校全学年用  
 入門編 初級編 中級編  
 中島克治 著  
 小学館 定価本体 各650円

今号で紹介するのは、麻布中学・高校の国語科教諭、中島克治先生の出された小学生向け国語ドリルです。小学生のうちに身に付けてほしい語彙や表現を楽しく学べるようにパズル形式になっています。また学年別ではなく取り組みやすい問題から順に並べられ、段階を踏みやすいように級で構成され、級をクリアし終えた後に付いている認定証を渡し次に進むシステムです。1問につき1ページを割り当てて紙面を大きく使い、漢字にはルビが振られ、シンプルなデザインにかわいいイラストも付いています。これら工夫がなされた本ドリルは発達障害を有する児童生徒を対象にしても大いに役立つのではないかと思います、ここに採り上げました。

中島先生は、「ただ覚えただけで使いこなせない語彙では、自分を表現することを難しくしてしまうだけ。言葉を真に身に付けるには家庭や友達とのコミュニケーションが大切。」と述べ、更に「このドリルには一般的に身に付けてほしい言葉への導きだけでなく、言葉の感覚や言葉遊びを通じて感受性を育成する意図も含まれている。『正解はこれ』的な訓練ではなく、語感そのものを楽しんだり、何となく正解を褒めてあげたりしながら言葉と子どもが繋がっていく瞬間を共有してあげてほしい。」と述べています。語彙力だけでなく、「自分の言葉で考えを表現できる力」や「他者の気持ちを察し、言葉を通じて伝えあう力」を付けるなど、総合的な力の定着を重要視して作られています。



サンプルページは「入門編」から…小学館の許可を得て表示しています。

## ■ 編集後記

今年度もサポート通信を御愛読いただけるよう、地域支援部部員一同頑張りますのでどうぞよろしくお願ひ致します。御感想、御質問などは右記まで。

■ 記事に関するお問い合わせ

広島市立広島特別支援学校  
 〒734-0013 広島市南区出島四丁目1番1号  
 TEL (082) 250-7101 FAX (082) 250-7102  
 担当 特別支援教育コーディネーター 林 美香子  
 MAIL: yougo-s@e.city.hiroshima.jp